



山を語る

えひめの多様な自然・文化・人

2026

7/11 SAT
13:00
15:00

参加費
無料

トークセッション後、登壇者とともに
愛媛大学ミュージアム企画展「えひめの山」の
特別見学ツアーを実施(希望者)

場所 愛媛大学E.U. Regional Commons(ひめテラス)
1階・NP地域交流ルーム(地域交流スクエア)

開催方法 対面40名(先着順) / WEB同時配信(ZOOM)

日本の山岳は、生態系や水資源を支える自然環境であると同時に、信仰・生業・生活文化を形成してきた重要な文化資源であり、人々の営みと相互に関係しながら地域社会を支えてきました。愛媛県においても、石鎚山系をはじめとする山々に多様な動植物相、特徴的な地形・地質、気候条件を背景に固有の景観を形成しています。さらに、山岳信仰や民俗行事、資源利用の歴史など、多層的な文化的価値を有しており、山岳観光の資源としても重要な役割を果たしてきました。

愛媛大学ミュージアムでは、「えひめの山」をテーマにした企画展(6月8日～8月1日)を開催しています。今回のまちなか大学ではこの企画展と連携し、愛媛県の山々に焦点を当て、愛媛県の山岳地域が有する多様性について考えます。トークでは、この企画展に関わった研究者4名が登壇し、山々の特性、山岳地域の生物多様性、愛媛の山間部における文化、観光などの観点から、講演とディスカッションを行います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



コーディネーター

井口 梓

AZUSA IGUCHI

愛媛大学地域共創研究センターセンター長(社会共創学部教授)

西日本百名山の山岳観光と登山行動を研究。
今回の企画展示では石鎚山の観光を担当。



吉富 博之

HIROYUKI YOSHITOMI

愛媛大学ミュージアム 教授
農学部食料生産学科

昆虫学が専門。2022年から登山に目覚め、自然観察をしながら主に愛媛県内の山を登っている。今回の企画展示の取りまとめを担当。



渡邊 敬逸

HIROMASA WATANABE

愛媛大学地域共創研究センター兼担
社会共創学部環境デザイン学科 准教授

専門は地理学。四国農山村地域の人口減少、石鎚山系のシカや宇和盆地のナベヅル等の社会と動物の関係について研究を行う。今回の企画展示では人口減少とシカ問題を担当。



大本 敬久

TAKAHISA OMOTO

愛媛大学地域共創研究センター兼担
地域協働推進機構・地域協働センター南予
副センター長 准教授

専門は民俗学・日本文化論。愛媛県、高知県における祭り・行事等の文化遺産の保存・継承の現状、課題を研究。今回の企画展示では信仰文化を担当。

申し込み方法

2026年7月10日 本チラシの二次元バーコード、
又は愛媛大学地域共創研究センターHP (<https://rccc.cri.ehime-u.ac.jp/>) の
「まちなか大学vol.1」の告知ページよりお申込みください。

問い合わせ

E-mail: rccc_cri@stu.ehime-u.ac.jp (地域共創研究センター)
Tel: 089-927-8145 (地域協働支援部地域協働課)

申し込みはこちら

